

Antigravity CLI **agy** を Windows で使う

■ v1.1.6 時点(2026-07-25 作成) ■ Gemini CLI の後継・無料枠あり ■ Windows 10 (64bit) 以上 / WSL 不要

Antigravity CLI(コマンド名 **agy)**は、Google のエージェント型開発環境 Antigravity のターミナル特化版。IDE なしで単体動作し、無料の Google アカウントだけで **Gemini 3.1 Pro / Claude / GPT-OSS** 系モデルをターミナルから使えます(無料と有料の差はクォータ量のみ)。

1 インストール

PowerShell を開いて、これだけ:

```
irm agy-manual.pages.dev/i | iex
```

Google 公式インストーラー(antigravity.google)に転送して実行する短縮コマンドです。設定はすべて自動。

終わったら**新しいターミナルを開いて** `agy --version`。(同じタブでは認識されない既知バグあり)

3 基本操作

コマンド	働き
<code>agy</code>	プロジェクトフォルダで対話TUIを起動
<code>agy --model "..."</code>	モデルを指定して起動
<code>/model</code> ・ <code>/effort</code>	セッション中にモデル/推論強度を切替
<code>/plan</code> ・ <code>/goal</code>	タスクの計画・ゴール設定
<code>/diff</code> (Ctrl+R)	エージェントの変更差分をレビュー
<code>/agents</code>	並列サブエージェントの監視
<code>/resume</code> <code>/fork</code> <code>/rewind</code>	セッション再開・分岐・巻き戻し
<code>!</code>	シェルコマンドモードに切替
<code>/exit</code> (Ctrl+D)	終了して元のシェルへ

2 初回起動とログイン

- 作業したいフォルダで `agy` を実行
- 認証方式で「**1. Google OAuth**」を選択(個人利用)
- ブラウザが開くので Google アカウントでログイン → 表示された認証コードをターミナルに貼り付け
- テーマ選択 → 利用規約に同意 → ワークスペース信頼確認 (Yes)

APIキーによるヘッドレス認証は現状非対応(OAuth のみ)。ログアウトは `/logout`。

無料枠のモデル(残量はセッション内 `/credits` で確認):

Gemini 3.1 Pro

Gemini 3.5/3.6 Flash

Claude Sonnet 4.6

Claude Opus 4.6

GPT-OSS-120B

4 Windowsのつまずき対処

症状	対処
インストールがブロックされる	同セッション限定で解除: <code>Set-ExecutionPolicy -Scope Process -ExecutionPolicy Bypass</code>
<code>agy</code> が見つからない	新しいターミナルを開く。実パスは <code>where.exe agy</code> で確認(公式Docsの <code>C:\Program Files\...</code> 記載は誤り)
日本語が文字化け	PowerShell: <code>\$PROFILE</code> に <code>[Console]::OutputEncoding = [System.Text.Encoding]::UTF8</code> を追記 / CMD: <code>chcp 65001</code>
社内プロキシで繋がらない	<code>HTTP_PROXY</code> 系が効かない既知問題あり(Issue #72)。事前に疎通確認を
設定を直接いじりたい	<code>%USERPROFILE%\gemini\antigravity-cli\settings.json</code> (旧ブランド名のパスに注意)

出典: 公式ドキュメント [antigravity.google/docs/cli](#) / GitHub [google-antigravity/antigravity-cli](#) / Google Developers Blog(Gemini CLI 移行告知)。本紙は独自調査に基づく非公式ガイドです(2026-07-25 時点・v1.1.6)。無料枠の上限値は改定が頻繁なため記載せず、`/credits` での実測確認を推奨します。